

安曇野市 重大ニュース 2025



安曇野

2

商賈を
ぎ口に

安曇野市×あずさマルシェ in LUMINE AGRI MARCHE開催

JR東日本の列車による荷物輸送サービス「はこびゅん」を活用して朝どれスイートコーンを届けたほか、市内事業者のこだわり商品を首都圏の消費者に直接販売することで安曇野市の魅力の発信につなげました。



農林部 農政課

3

すべての人に
健康と福祉を

子どもの医療費の 窓口負担 無料化

令和7年4月診療分から18歳までの子どもの医療機関窓口での自己負担を無料化しました。

子育て世帯の医療費負担を軽減し、早期に適切な受診が促進され、疾病の重症化を防ぐことが期待されます。

子どもの医療費の 窓口負担を無料化



福祉部 福祉課

3

すべての人に
健康と福祉を

1か月児健康診査 費用の助成

赤ちゃんの体や発達の様子を医師が確認し、育児について相談もできる1か月児健康診査の費用助成を4月より開始しました。



保健医療部 健康推進課

4

質の高い教育を
みんなに

小規模特認校制度 による児童転入学

明北小学校に、市内全域から小規模特認校制度による児童6名が転入学しました。

子どもたちは、すぐに仲良くなり、豊かな環境で、のびのびと学んでいます。



教育部 学校教育課

4

質の高い教育を
みんなに

文化施設のリニューアル オープン

安曇野市美術館は大規模改修工事を機に、豊科近代美術館から名称を変更し、8月30日にリニューアルオープンしました。

また、穂高鐘の鳴る丘集会所は、大規模改修工事を終え、6月にリニューアルオープンしました。



教育部 文化課

4

質の高い教育を
みんなに

三郷東部認定こども園 新園舎が完成

三郷東部認定こども園の新築工事が完了し、8月18日から新園舎での保育が始まりました。これにより、市立全19園の耐震化工事が完了しました。



教育部こども園幼稚園課

6

安全な水とトイレ
を世界中に

大阪・関西万博で 水資源をPR

9月23日から7日間、「大阪・関西万博」で、安曇野市の地下水の仕組みや魅力を紹介。その希少性と保全の必要性をPRしました。期間中は約6,600人が来場しました。



市民生活部 環境課

8

働きがいも
経済成長も

オープンファクトリー 2025 初開催

学生の帰省時期に市内企業の職場見学を行うオープンファクトリーを初開催。実際に職場の雰囲気を感じ社員と話す機会を通じて、業務内容や職場環境、社員の仕事観も伝わり、就職の選択肢が広がりました。



商工観光スポーツ部
商工労政課

8

働きがいも
経済成長も

安曇野産農産物の魅力 をシンガポールへ発信

シンガポールからインフルエンサー等6人を招待し、収穫体験や水の魅力を体感するモニターツアーを実施。SNS等で発信し、インバウンドによる農産物等需要拡大を図りました。



農林部 農政課



橋梁長寿命化修繕計画 直営点検の試行開始

橋梁長寿命化修繕計画を改定し、昨年度から3巡目(5年毎)となる定期点検を開始しました。

令和5年度から早稲田大学と水上ドローンを用いた点検方法を共同開発中。本年度、直営点検による試行運用を開始しました。



都市建設部 維持管理課



まんまるカラフル まつり開催

文化芸術と共生社会づくりを融合させたイベント、まんまるカラフルまつりを10/4に碌山公園・研成ホールで開催。社会福祉協議会のわんぱく広場ふれあいまつりと同時開催で、多くの方が来場しました。



政策部 人権共生課



本陣等々力家の 再生・活用事業スタート

一部が市有形文化財となっている「本陣等々力家」を、官民連携により宿泊施設を主とした複合施設として改修し、安曇野の歴史的、文化的価値を高めた新たな観光の拠点施設として整備していきます。



商工観光スポーツ部
観光課



安曇野ナンバー 交付開始

5月7日から安曇野ナンバーの交付が始まりました。

地域名のPRや地域の魅力を発信する“走る広告塔”としての効果が期待されます。



政策部 政策経営課



市制施行20周年 記念式典を開催

市制施行20周年記念式典を9月28日 ANCアリーナで開催。高校生記念映像の上映や功労表彰、書道パフォーマンス、小中学生の作文朗読のほか、広報紙記念号の発行等、市民の皆さまと節目を祝いました。



政策部 秘書広報課



消防団女性消防隊 全国大会出場

第26回全国女性消防操法大会(横浜市)に、長野県代表として「安曇野市消防団女性消防隊」が初出場し、全国21位、敢闘賞という成績を収めました。



危機管理課



「さとぼろ。」が 新たなステージへ

第3次安曇野市里山再生計画がスタート。さとぼろ。活動のプラットフォームとなる中間支援組織「(一社)さとぼろ。機構」が発足。認知度向上に地域おこし協力隊員が着任するなど、新たな一歩を踏み出しました。



農林部 耕地林務課



戦後80年平和事業

今年は戦後80年、安曇野市制施行20周年の節目となり、市民の皆様とともに平和の尊さについて学び考え、平和な暮らしを次世代に引き継ぐことができるよう様々な平和事業を実施しました。



総務部 総務課



市議会議員22人が 決定

安曇野市議会議員一般選挙の投開票が10月12日に行われ、新任議員9人を含む、第6期安曇野市議会議員22人が当選。第1回臨時会にて、議長には増田望三郎議員、副議長には中村今朝子議員が就任しました。



議会事務局

他にも 2025年にはこんな出来事がありました

経済

有機農産物を活用した調理講習会を開催
路線バス「三股線」の実証運行を実施

環境

黒沢洞合自然公園拡張整備に着手
認定こども園の園庭芝生化が進む
屋根太陽光でゼロカーボンを推進
環境フェア特別講演会開催

社会

三郷公民館長寿命化改良工事の竣工
新豊科中央児童館が完成
移住希望家族向けに自然保育体験入園を開始
20年前旧豊科町閉町記念のタイムカプセル開封
小説「安曇野」待望の復刊
クラムザッハへ高校生8人を派遣
全日本自転車競技選手権大会、開催決定
土地利用制度の見直し
高齢者補聴器購入事業補助金を創設
認知症希望大使講演会を開催
新生児スクリーニング検査費用助成を拡大
母乳相談等助成事業の利用期限を延長
パパママ教室(両親学級)の再開

行政

コンビニ交付証明書手数料100円値下げ
本庁舎に証明書コンビニ交付対応端末導入
戸籍へのフリガナ記載対応開始
安曇野市防災マップ改定
り災証明書発行に関する協定締結
住宅耐震改修促進事業
長野県下水道協会事務・技術講習会開催
医療的ケア児等コーディネーター専任配置
中部地域包括支援センターを本庁舎1階に開所
地域の協力を得た民生委員・児童委員一斉改選
カスタマーハラスメント対策指針を策定

太田寛市長が急逝

11月28日、太田寛市長が享年69歳で逝去されました。市長は本年10月に再選を果たし、二期目の市政を踏み出した矢先での旅立ちとなりました。

令和3年10月の就任以来、県庁時代に培われた幅広い人脈を生かし、安曇野の知名度向上やブランド価値の強化を力強く推進され、市の発展と福祉の向上に尽力されました。

JR東日本と連携した「安曇野市×あずさマルシェ」では、自ら店頭に立って農産物のPRを行い、生産者との絆を深めると同時に、安曇野の魅力を全国へ発信されました。さらに、小説『安曇野』の復刊や安曇野ナンバーの導入など、市と地域のブランド価値向上につながる数々の施策を実現されました。また、18歳までの医療費窓口負担の無料化、公立園全園の芝生化、インクルーシブ遊具の設置など、子どもたちが安心して健やかに成長できる環境づくりにも力を注がれました。

このほかにも数多くの「住んでよかったゆたかな安曇野」の実現に向けた政策を立ち上げてこられました。

